

和歌山県有田市

ICT の活用による多世代で取り組むまちづくり



【活動の基本情報】

参加学生数：2 名（3 年生：2 名）

活動期間：2023 年 6 月～

担当教員：永瀬節治

1. 活動実施の経緯

有田市箕島地区では、平成 29 年度より有田市社会福祉協議会や箕島地区の地域活動団体である「ワンハート」と連携しながら、多世代交流を通じた地域活性化に向けた活動に取り組んでいる。コロナ禍となった令和 2 年度からはオンラインによる交流機会の創出やワークショップなどに取り組み、令和 4 年からはそれらの成果を活かし、現地でのスマホ講座をはじめとした多世代交流、地域コミュニティの活性化に関する活動を行なっている。

2. 活動の内容

昨年度から引き続き、有田市社会福祉協議会や公民館等との連携により、高齢者を対象に、日々の生活に役立つスマートフォンの使い方を知ってもらう「スマホ講座」の企画運営に取り組んだ。また、6 月の豪雨に際し有田市においても避難指示や浸水被害等が生じたことを受け、新たな取り組みとして、地域の方々と被災時の情報や避難のあり方等を共有する防災ワークショップや、小学生向けの防災まち歩きイベントを企画し、学生たちにとっても防災に関する知識や認識を深める貴重な機会となった。

3. 活動を通じて

今年度は継続して参加する 3 回生 2 名による活動となったが、これまでの経験や地域に関する知識等を活かしながら、地域の関係者との円滑なコミュニケーションを通じて密度の高い活動に取り組むことができた。来年度は新規メンバーの参加にも期待しつつ、引き続き多世代交流を軸として、地域課題の解決に学生なりに貢献できるような活動に取り組む予定である。

4. 成果ポスター

箕島LPP 2023年度活動報告

テーマ「ICTの活用により多世代で取り組むまちづくり」

受け入れ先：有田市社会福祉協議会
メンバー：3回生2人

①防災ワークショップ

6/2の大雨で箕島地区にも、避難指示が出たり浸水地域が発生したりした。その時の情報の受信はどうだったのかという観点から、社協さんと6/29に開催を決めた。当日は、作成していた地図やワークシートを活用し被災者の方のリアルな意見を聞くことができた。ただ、実際に被災していない私たちができることは限られており、ヒアリング・まとめにとどまってしまった。



②スマホ講座

昨年から開催しているスマホ講座も今年度も行った。昨年の反省を踏まえ、内容や担当する人数などに工夫を行った。今年度は、公民館から依頼を受けて実施する形を取った。参加者の事後アンケートからも、講座は好評でニーズは高いことが分かるので、来年以降も継続していきたい。

③防災まちたんけん

1/28に有田市で活動されているマモツチャクラブと一緒に、小学生向けの防災イベントを開催した。「災害時に自分で判断して行動できること」を目標として、クイズやまち歩きを計画した。当日は、防災士の方の解説に小学生も質問をしながら楽しく学ぶことができてよかった。



～今年度の活動を振り返って～

今年度は3回生2人という少人数であることを強みにし、フットワーク軽く活動を行ってきた。特に、地元のグループの方とも協力し活動できたことが良かった。テーマにとらわれ過ぎず、地域や社会の状況に合わせて活動していけることは地域と繋がるLPPとしても良い形だと感じた。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

2023 年度 LPP 合同活動報告会 実施報告

和歌山県有田市

テーマ：ICT の活用による多世代で取り組むまちづくり

交流会では、小学生を対象とした防災イベントやワークショップの実施について関心を持って頂き、内容や大変であった点等についての質問を頂いた。「LPP の活動についてあまりよく知らないが、和歌山出身であるため聞きに来た」、というシステム工学部の関係者の方とお話しする機会があった。私たちの地域での活動に関心を持ち、ポスターもじっくりと見ていって下さった。その際、地域の方や観光学部生だけでなく、大学内の多くの人に観光学部の LPP という活動を知ってもらえる機会があればよいな、と感じた。また、講評では、大浦先生に箕島 LPP についてお言葉を頂くことができ、今年度も頑張ってきてよかったと深く感じた。

昨年度と比べて沢山の地域の方も来てくださり、学生と地域の方が意見交換や交流をする姿が多くみられた。私自身も他 LPP の活動報告を聞き、大人数ならではの運営方法や、企画立案方法等参考になる点が多くあった。私自身、リーダーとして参加する活動報告会は 2 回目であるが、これまでの活動を共有し、他の学生が生き生きと地域で活動している様子を見ることが出来る報告会は私たち自身のモチベーションの向上にもつながり、非常に有意義な時間であると感じている。LPP の魅力を多くの学生に知ってもらい、より多くの学生が地域での充実した活動を行ってほしいと思う。

